



# 次世代に負担を残さない！ どうする？洞爺湖町！

■問合せ 企画防災課行財政改革推進グループ (☎ 74-3004)



シリーズ3回目のテーマは職員数と業務量です！

## Vol.3 行政組織も人出不足なの？

経済活動が再開する半面、建設業や医療・福祉、宿泊業、運送業などで特に人出が足りないと耳にする機会が多くなっています。

人出不足は民間事業者だけでなく、洞爺湖町の行政でも課題となっています。行政の人手不足について考えてみます。

### ■役場体制の現状と課題は？

#### ・増やせない職員数

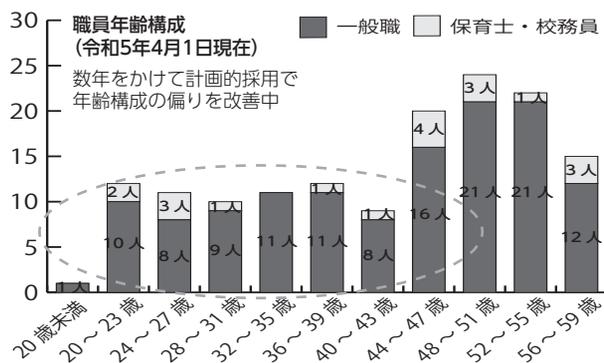
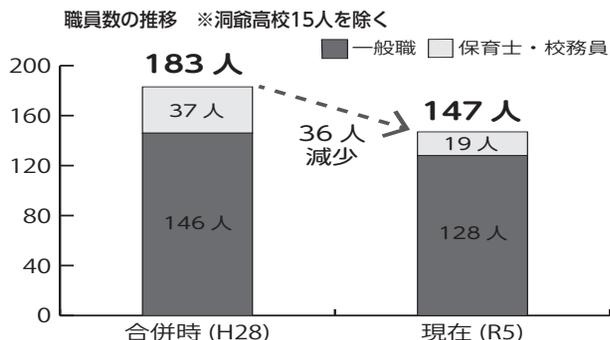
職員数は、町村合併以降財政状況の悪化で採用を抑制したため、大幅に減少しています。今の町の規模、財政状況では、職員数を増やすことはできません。

#### ・人材の育成

働くことへの意識も変わる中、経験や知識を受け継ぎ、緊急事態が発生した際でも業務を継続できる体制としていかなければなりません。

#### ・技術職員などの不足

資格が必要な職種では専門知識を学ぶ学生の減少、都市部への希望などにより、人材の確保が難しくなっています。また、委託している業務も民間企業の高齢化や人手不足で請けてもらえない、会計年度任用職員も業種によっては必要人数を確保できないことがたびたびあります。後継の人材がいないと、業務の継続に支障が出てしまいます。



### ■人口が減っていくのに仕事は減らないの？

次のような理由で仕事は減っていないんです

- ・道路や水道、公共施設などの維持管理の業務量は減っていかない
- ・福祉や災害対応などのニーズが高く、行政のきめ細やかな対応が求められる
- ・国や北海道が行っていた仕事が市町村に降りてきた
- ・時代の変化、洞爺湖町の特性などにより新しい仕事が増えている

同じように続けていると、新しい仕事が増えるため業務量が多くなっています

### ■必要な行政サービスを続けていくために

町民のニーズに応え、生活に必要な行政サービスを持続していくために、必要な人材の確保、育成に取り組んでいます。

その他にも必要なサービスに十分な人員を充てていくには、業務効率化の向上や実施方法・業務配分の見直し、担うべき業務の取捨選択なども必要です。

人材確保だけでなく、業務のあり方や体制の見直しなども併せて行うことが重要です。



### ■次号に続く

次号は洞爺湖町の財政の特徴についてお知らせします